

現地を訪れ、自分の足で行政上の課題・お困りごとを拾う



中国四国管区行政評価局 評価監視部業務管理官
(山口行政監視行政相談センター勤務)

石川 未奈

令和2年4月 中国四国管区行政評価局採用
4年4月 本省（行政評価局）勤務
6年4月 現職

【現在の業務内容】

勤務時間・休暇日数の報告や会計書類の作成といった総務業務のほか、総務大臣が委嘱する行政相談委員の活動の支援などを行っています。

具体的には、県内各地で開設する相談所において、広報活動や相談の受付を行ったり、出前教室や懇談会において、行政相談によって解決した事例の紹介などを行っています。

【本省での業務経験】

本省勤務1年目は、行政運営改善調査「太陽光発電設備等の導入に関する調査」の計画作成、実地調査を行いました。太陽光発電設備の認定等を行う省庁、太陽光発電設備の設置数が多い自治体へのヒアリングを行い、太陽光発電設備に関する未解決のトラブル等について実態を明らかにしました。

【これまでの業務で印象に残ったエピソード、やりがいなど】

本省勤務2年目は、行政相談に関する企画・立案を行う課に所属していました。令和6年能登半島地震の発災後、被災者のお困りごとの早期解決に向け、フリーダイヤルの開設や支援策をまとめたガイドブックの作成支援などを行いました。行政相談を端緒として避難先の市区町村でも手続きができるようになった事案があり、お困りごとの解決に寄与できたことが、やりがいの一つです。

Q 中国四国管区行政評価局を志望したきっかけは？

A 業務説明会に参加した際、調査で現地を訪れたり、行政相談で県内各地の相談所の応援に行くなど、自分の足で行政上の課題やお困りごとを拾う点に魅力を感じ、志望しました。

Q 入省後、成長したと思うことは何ですか？

A 時代とともに行政上の課題、相談の内容は変化しますので、前例どおり、指示どおりに業務をこなすのではなく、一回自分の頭で何が最善かを考えて、業務を行うようになったことです。

■ 受験生に向けてメッセージをお願いします！

受験が近づき、「行政評価局」という機関を初めて知ったという方も多いのではないのでしょうか。私も受験前は当局を知らず、説明会において、外に出る機会が多い点や職場の雰囲気の魅力を感じ、入局しました。

ぜひ様々な官庁の業務説明会に参加し、納得のいく道を見つけていただければと思います。当局の説明会へのご参加もお待ちしています！

一日の勤務スケジュール

8:30 出勤（電車通勤）、支払手続に必要な確認書の作成
10:00 勤務時間やテレワーク実績資料の作成
12:00 昼食（お弁当を注文しています）
13:00 新任の行政相談委員が開設する相談所へ赴き、行政相談委員と一緒に相談受付（官用車で相談所に移動）
17:15 自宅へ直帰

